

第457号

令和3年

1月11日

# すまいるたうん



発行元  
東京新聞  
南千住東口専売店  
Tel.5850-3699  
発行責任者  
鬼塚 佳代子  
Tel.090-2657-0300

温もりのお裾分けに笑顔が灯る  
支えられて前に進める  
ひとり親家庭

「年金で何とか食べていけるから、子どもたちに」

「私も母子家庭だったから、娘と二人で寄附します。」

昨年12月に掲載したパントリーピックアップの記事を読んで匿名で寄附された方がいらつしやいました。

「ご支援いただき、ありがとうございます。フードの配布はとても助かっております。」

「ありがとうございます。助かります。」

「いつもとても助かっております。私も、子どもの小さくなった服を譲りたいと思っています。」

「よく食べるので本当に助かります！」

「いつも温かいご支援に感謝していますが、世の中が不安定になっていますが、お互いに健康で元気に過ごせたらと思います。」

「子どもの鉛筆・消しゴム・色鉛筆など文具類の配布があると嬉しいです。」

これは昨年末のパントリーピックアップ

で寄附された食材、日用品を頂いたひとり親家庭の感謝の言葉です。

「今年3回の手術・入院をし、来年も予定があり、仕事の契約期限も終了するため、不安です。」

「小学生の子どもが学校に行き渋っています。私も仕事があるので。」「

「子どもの進路のことも悩んでいます。」

「子どもがなかなか言うことをきかなくて。」「

「子どものこの先の学費や生活費などのお金のこと、また祖母など身内の健康面も不安です。」

アンケートに吐露されたひとり親の悩みの悩みです。

ひとり親家庭の状況は様々です。発達障がいのお子さんを抱え、その兄弟も妹の世話で友だちとも遊べない状況の中、

育児も仕事も生活全般をひとりでこなすお母さんや病気のご家族を抱え、仕事と

育児をひとりでこなされている方もおります。

**引き続き食材等のご支援を!**

荒川区内でのパントリーピックアップは、厳しい環境に置かれるひとり親家庭に必要な食材や日用品等を毎月配布する活動です。緊急事態宣言が出て、益々生活の状況は厳しくなりますが、後ろで支

えてくれる人がいる。見守ってくれる安心感で、子どもは一人で自転車をこぎ出せるようになります。けれど、毎月の活動なので、まだまだ支援物資が足りません。

野菜やお米、乾物類や洗剤などの生活物資や未使用のおもちや、現金などのご寄付を募っております。ご寄付いただいた、その先には喜ぶ子どもたちの笑顔があり、成長があります。

次世代を担う子どもたちの成長のお手伝いをしませんか。



お問い合わせ

荒川区社会福祉協議会 地域ネットワーク課  
荒川ボランティアセンター

TEL : 03-3802-3338 FAX : 03-3802-3831

E-mail : vorasen@arakawa-shakyo.or.jp